



天草

市政だより

日本の宝島 “天草”の創造を目ざして！

平成22年

6.1

No.100



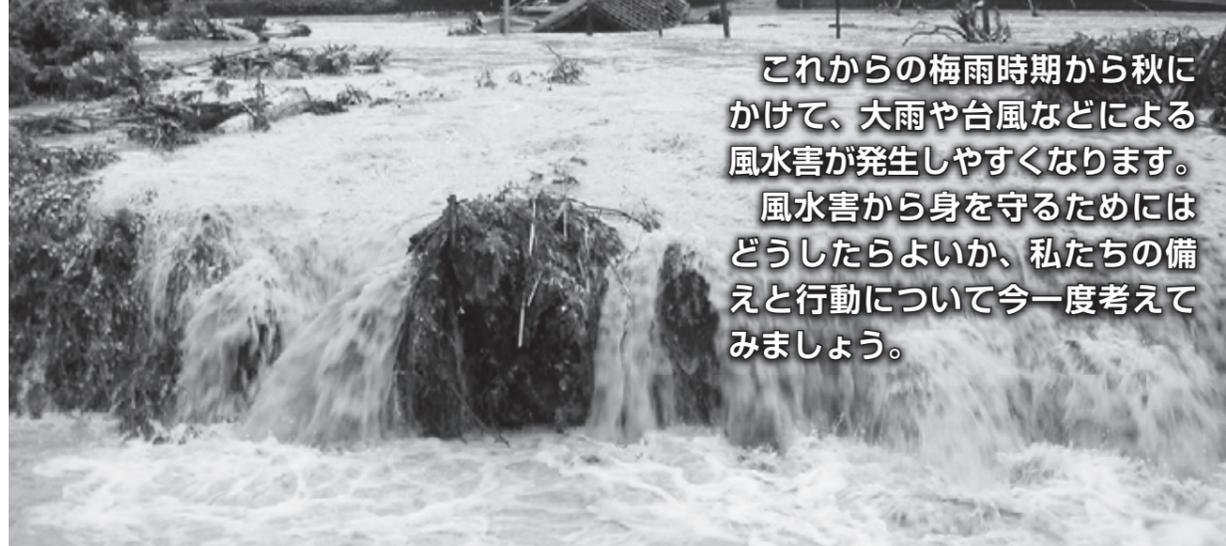
メインの“ハイヤ総踊り”

4月16日から同18日にかけて、天草の春の一大イベント「第39回牛深ハイヤ祭り」が、牛深町で盛大に開かれました。17日の“ハイヤ総踊り”では、午後7時から30団体・約1,400人が趣向を凝らした衣装や踊りを披露。ちょうちんが照らす薄明かりの中、軽快なリズムに合わせて踊り歩き、県内外から訪れた観光客らを魅了しました（8・9ページに関連写真）。

主な内容

- 風水害から身を守ろう …… 2～5
- 事業所調査から見る女性の雇用状況を公表！… 6～7
- 牛深ハイヤ祭り …… 8～9
- 議会報告 …… 10
- 宝島のわだい …… 11～15
- みんなの広場 …… 16～19

風水害から身を守る



これからの梅雨時期から秋にかけて、大雨や台風などによる風水害が発生しやすくなります。風水害から身を守るためにはどうしたらよいか、私たちの備えと行動について今一度考えてみましょう。

日々の備えを十分に！

家の周りや地域の危険箇所を確認する

大雨が降ったり、台風が接近したりしたとき、皆さんの家や地域は安全ですか。皆さんが住んでいる地域で過去に洪水や浸水、山崩れ、がけ崩れなどの災害が発生したことがあるか、また、どのような危険があるかを調べておくことが大切です。家の周りや地域を見回して、危険箇所がないか確認しておきましょう。自分の住む地域が「急傾斜地崩壊危険箇所」「土石流危険渓流」「地すべり危険箇所」などの危険区域に指定されているかどうかは、天草市防災マップに掲載されているほか、本庁（別館）・河川港湾課または牛深支所・建設課、その他の支所・産業建設課、県天草地域振興局工務第二課で確認することができます。また、自宅の窓や屋根、雨どいや側溝、壁などを点検し、壊れているところがあったら早めに修理しておきましょう。

避難場所や避難方法の確認を

市が指定した避難場所（4ページ参照）までの経路について家族で話し合い、確認しておきましょう。しかし、河川の水があふれているときなどは、避難場所に安全に避難できない場合があります。自宅や職場の近くに、一時的に避難できる場所を決めておくことも必要です。

非常持出品の準備・点検は？

いざというときのために、非常持出品を用意しておきましょう。非常持出品として準備する乾パン・缶詰・栄養補助食品などの非常食や飲料水（いずれも3日分を目安）、懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池、衣類、救急医薬品、現金などは日ごろから準備・点検しておきましょう。



被害を最小限に抑えるために

気象情報などは最新情報を把握する

台風や大雨などのときに発表される注意報や警報は、各地域の住民の皆さんに注意を呼びかけ、災害による被害を最小限に食い止めることを目的としています。注意報は災害が起こるおそれがあるとき、警報は重大な災害が起こるおそれがあるときに、それぞれ発表されます。

天草ケーブルテレビの市民チャンネルによる災害情報の放送（同テレビ加入世帯のみ）

早めの避難と高齢者などへの協力

警報や避難の勧告・指示が出された場合、または勧告などがなくても長雨や大雨などで身の危険を感じたときは、事前に決めている避難場所へ速やかに避難してください。

また、高齢者や障がい者、子どもなど災害時にすばやい行動をとることが困難な人たちが家庭や隣近所にいるときは、家族や周りの人たちが協力して災害から守りましょう。

そのためには、日ごろから家族や地域で防災について話し合っておくことが大切です。

※詳しいことは、本庁・防災交通課防災消防係 ☎111 11内線1231へお尋ねください。

- 防災行政無線による放送
 - 熊本県防災情報メールサービス（下記参照）
 - 熊本県統合型防災情報システムホームページ
- http://www.bousai.pref.kumamoto.jp

熊本県防災情報メールサービスに登録しましょう



県内の防災情報などをメールで受け取ることができ、最新の気象情報などが即時に配信されます。また、受信する情報は自由に選択ができます。なお、このサービスを受けるためには、あらかじめ登録が必要です。

登録方法

下記のホームページにアクセスし、案内に従い登録をしてください。
http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/

配信する情報

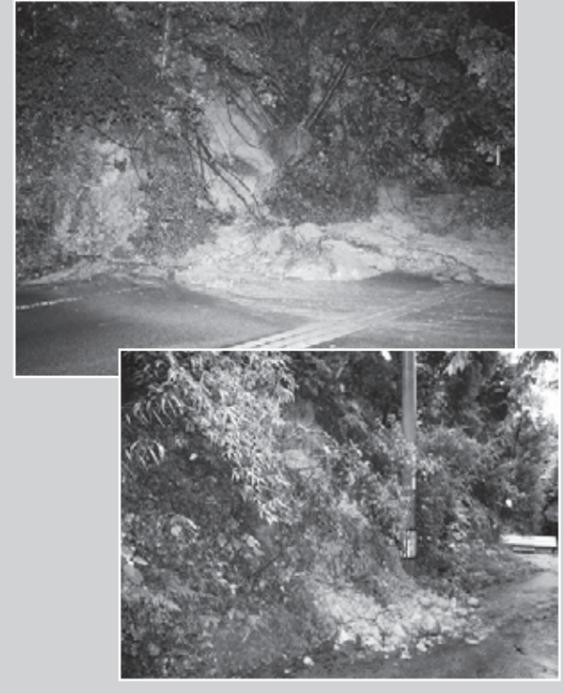
- 気象警報、注意報 ● 土砂災害警戒情報
- 竜巻注意情報 ● 地震情報 ● 津波情報
- 火山噴火情報 ● 河川水位情報

「土砂災害警戒情報」を防災行政無線でお知らせします

熊本地方気象台と熊本県では、大雨警報発表中に土砂災害の危険性が高まったときに、住民の自主避難などの参考になるよう『土砂災害警戒情報』が発表されます。

市では、『土砂災害警戒情報』が発表されたときに、市民の皆さんにいち早く情報をお伝えするため、深夜・昼夜を問わず、防災行政無線でお知らせすることとしています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

なお、『土砂災害警戒情報』は、市内10地域を「東部（本渡・有明・御所浦・倉岳・栖本・新和・五和）」と「西部（牛深・天草・河浦）」に分けて発表されますが、防災行政無線でのお知らせは、危険性が高まっている地域のみに行います。



天草市防災マップを作成しました

■防災マップとは

天草市防災マップは、市内を10地域に区分し、大雨による河川のはらんや土砂災害、台風による高潮が発生した場合に、浸水が予想される区域や浸水の深さ、土砂災害危険箇所を色分けした地図に避難所等を表示し、住民にわかりやすく公開することにより被害の軽減を図るとともに、高潮や土砂災害などの総合的な防災対策への推進につなげるために作成したものです。

■内容

●河川浸水想定区域

おおむね10年～100年に一度の大雨を想定し、浸水の深さを色分けして掲載。

●高潮の浸水想定区域

過去に熊本県に影響を与えた台風群から選定した主要な台風が、さまざまなコースを通過した場合を想定しています。

●土砂災害の危険がある箇所

土石流危険渓流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所を色分けして掲載。

●避難所

各地域の第1次、第2次避難所を掲載。

●災害時の基礎知識

マップ（地図）だけではなく、防災について役立つ情報も掲載。



防災マップの活用方法

①避難所の確認

マップで自分の家から近い避難場所を確認しておきましょう。

②避難ルートの確認

実際に歩いてみて安全で避難しやすい経路を確認しておきましょう。

③各地域で危険箇所などの共通認識を持つ

各自主防災会などで、地域の危険箇所や災害がおこりやすい場所を話し合い、マップに書いておきましょう。

④災害に関する情報も確認しましょう。

⑤防災マップをふだん目に付く場所に置いておきましょう。

※天草市防災マップは、市ホームページにも掲載しています。

※同マップは、本庁・防災交通課または各支所・総務振興課に備え付けてあります。



【問い合わせ先】 本庁・防災交通課防災消防係(内線1231)

◆市の指定避難場所（大雨・台風時における第1次避難所〔自主避難を兼ねる〕）

地区名	場所	地区名	場所		
本渡	本渡南	本渡南公民館・図書館	栖本	河内	栖本町公民館
	本渡北	天草市中央公民館 本渡北公民館		栖本	栖本支所 栖本福祉会館
	亀場町	亀場町公民館	新和	小宮地	新和町民センター 宮南公民館
	楠浦町	楠浦町公民館		大宮地	大宮地公民館
	栢宇土町	栢宇土町公民館		大多尾	大多尾公民館
	志柿町	志柿町公民館		中田	中田公民館
	下浦町	下浦町公民館		碓石	碓石公民館
	本町	本町公民館	五和	御領	五和支所 大島公民館
	佐伊津町	佐伊津町公民館		鬼池	鬼池公民館 引坂公民館
	宮地岳町	宮地岳町公民館・児童館		二江	通詞島多目的集会所 五和漁村センター
牛深	牛深町	牛深幼稚園 牛深総合センター 天附体育館		手野	山浦公民館 手野公民館
	久玉町	くたまふれあいセンター		城河原	地域交流センターおおくす 城河原公民館
	魚貴町	魚貴小学校 魚貴町池田いきいきふれあい館	天草	福連木	福連木多目的集会所
	深海町	ふかみふれあいセンター		下田北	天草町民センター
二浦町	二浦地区多目的研修集会所	下田南		下田南公民館	
有明	楠浦	楠浦公民館		高浜	天草支所 高浜公民館
	大浦	大浦公民館		大江	天草交流センター 大江シルバーコミュニティセンター 向辺田公民館
	須子	須子公民館	新合		新合公民館
	赤崎	赤崎公民館	一町田		今田地域交流施設 一町田小学校第1分校体育館 河浦支所
	上津浦	上津浦公民館	河浦	富津	富津公民館
下津浦	下津浦公民館	宮野河内		宮野河内公民館	
島子	島子公民館				
御所浦	御所浦	御所浦島開発総合センター			
	御所浦南	御所浦交流センター			
	牧島	勇志国際高等学校			
	御所浦北	横浦島コミュニティセンター			
倉岳	嵐口	御所浦漁村センター			
	浦	浦公民館			
	棚底	倉岳老人福祉センター			
	宮田	宮田公民館			

●市の指定避難場所については、天草市防災マップや市ホームページの「防災・災害情報コーナー」でもご覧いただけます。

大雨や洪水に関する 警報・注意報の発表が 「天草市」になりました

5月から、気象庁が発表する大雨や洪水などに対する警報・注意報が、市町村を対象とした発表に変わりました。

■発表対象地域

「天草地方（天草市、上天草市、苓北町）」
→「天草市」

今回の変更により、警戒が必要な市町村が明確になり、効果的な防災対策を行うことができるようになりました。

市町村ごとの気象警報・注意報の詳しい内容は、気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/> をご覧ください。



災害が発生したとき、発生のおそれがあるときは 災害対策本部を設置し対応します

市では毎年、梅雨時期を前に防災会議を開き、防災計画を見直す一方、危険箇所なども点検しています。この結果を踏まえて作成した「天草市地域防災計画書・天草市水防計画書」は、本庁・防災交通課や各支所・総務振興課に備え付けていますのでご覧ください。

大雨や台風に伴う警報などが発表されると、市（本庁・各支所）では警戒体制をとり、情報の収集を行います。また、災害が発生したときや、災害発生のおそれがある場合は、市役所本庁舎内に『災害対策本部』を設置し、災害に対応します。

※災害が発生したり、発生のおそれがあるときは…
本庁・防災交通課 ☎ 1111 内線1231
各支所・総務振興課へ

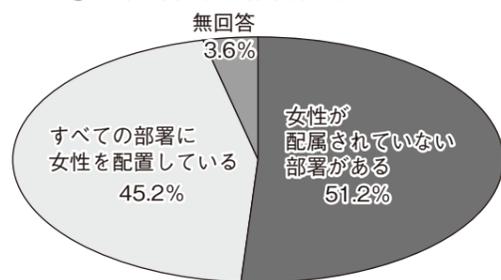
事業所調査から見る 女性の雇用状況を公表!



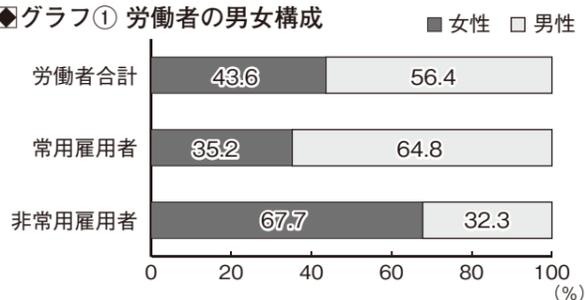
市では昨年10月、市内の従業員数5人以上の民間事業所を対象に、女性の雇用などに関する状況や仕事と家庭の両立支援の状況などについて「事業所の男女共同参画推進状況調査」を実施しました。今号では、同調査結果の中から「女性の雇用状況」の結果を報告します。

※回答…166事業所（867事業所のうち）

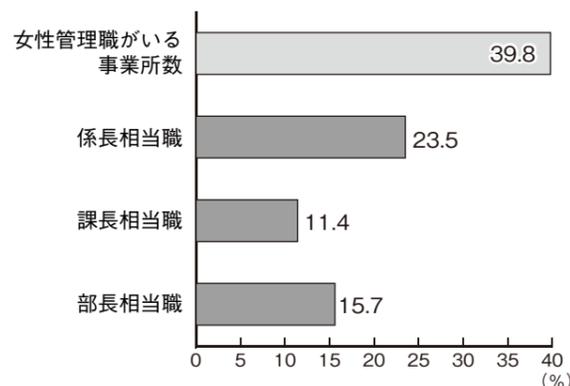
◆グラフ② 女性労働者の配置状況



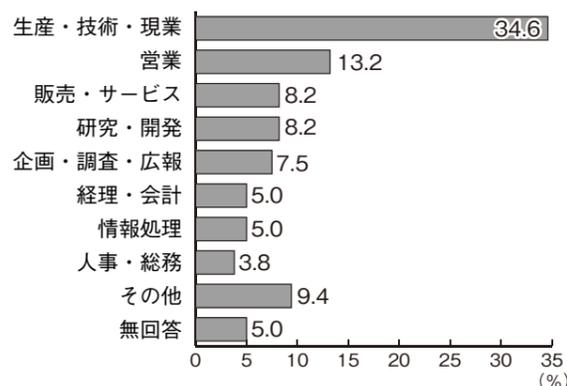
◆グラフ① 労働者の男女構成



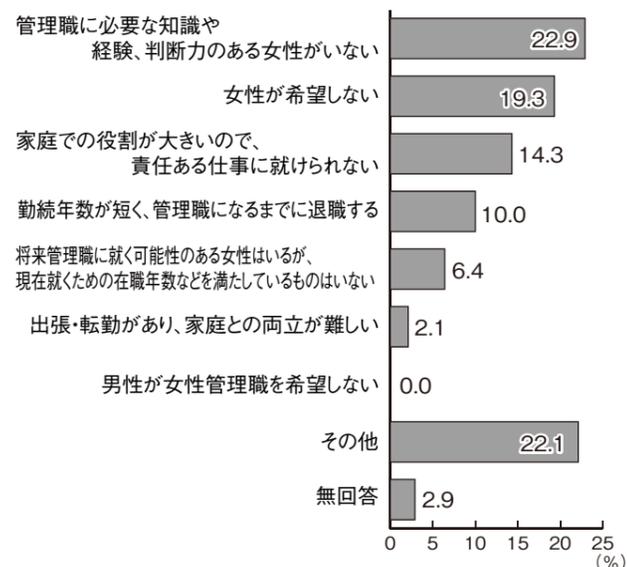
◆グラフ⑤ 女性管理職のいる事業所割合など



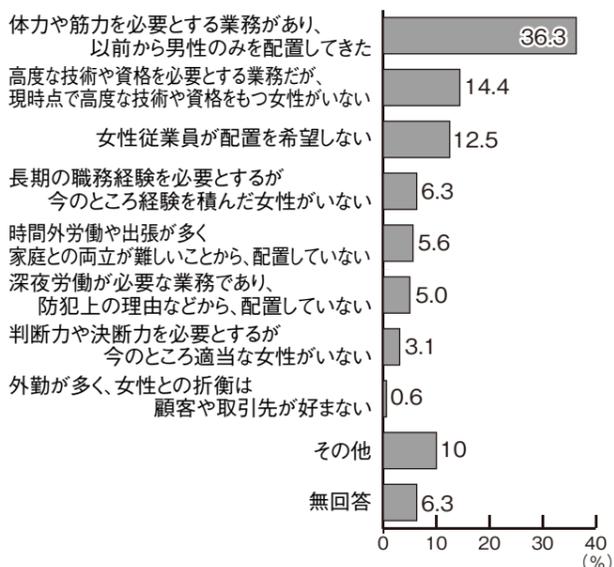
◆グラフ③ 女性が配置されていない部署



◆グラフ⑥ 女性管理職を増やす予定がない理由



◆グラフ④ 女性を配置していない理由



男女の雇用状況に大きな差

労働者の総数に占める男女の割合は、女性が43.6%、男性は56.4%となっています。このうち常用雇用者は全体の74.1%で、女性が35.2%、男性は64.8%です。女性と男性を比較すると、29.6ポイントもの差が見られます。逆に、非常用雇用者の割合を見ると、女性の割合が男性の割合を35.4ポイントも上回り、女性のパート・アルバイトへの雇用の比率が高いことがうかがえます。

経理・総務系に女性が多く配置

次に、女性を配置していない部署があると答えた事業所が51.2%と半数を超えますが、すべての部署に女性を配置している事業所も45.2%を占めています。女性が配置されていない部署でもっとも多かったのが「生産・技術・現業部門」で34.6%と合わせて高く、次に「営業部門」が13.2%でした。逆に「経理・会計」「情報処理」は5.0%、「人事・総務」は5.0%、「経理・総務系」に女性が多く配置

が3.8%と事務関係では低く、女性は経理・総務系に多く配置されています。

【※グラフ② 女性労働者の配置状況・グラフ③ 女性が配置されていない部署】

36.3%が体力的な差で男女の部署を決定

女性を配置していない理由では、「体力や筋力を必要とする業務があり、以前から男性のみを配置してきた」が36.3%と最も多く、「高度な技術や資格を必要とする業務だが、現時点で高度な技術や資格を持つ女性がいらない」の14.4%が続きます。「女性従業員が配置を希望しない」が12.5%となっています。「女性が配置されていない部署」があると答えた85事業所に、今後の女性の配置計画について尋ねた結果、「配置の見直しは考えていない」と答えた事業所が81.2%と合わせて高く、「配置の見直しを現在検討中である」と答えた事業所は12.9%で、「数年以内に配置する」は2.9%、「2年以上以内に配置する」は2.9%と低い状況でした。

39.8%が女性管理職を登用

今回の調査では、女性管理職（係長相当職以上）についても各事業所から回答を得ています。女性管理職のいる事業所は、全体の39.8%でした。内訳を見ると、「係長相当職」23.5%、「課長相当職」11.9%、「部長相当職以上」が15.7%となっています。また、女性常用雇用者に占める女性管理職の比率は、「係長相当職」7.7%、「課長相当職」2.9%、「部長相当職以上」3.1%、管理職全体で13.8%となっています。配置されている部署としては「経理・会計」が36.9%と最も高く、次いで「人事・総務」19.9%、「販売・サービス」14.2%となっています。「研究・開発」部門での女性管理職への登用は、1人も配属されていない状況でした。

65.7%が「女性管理職を増やす予定なし」と回答

数年以内に女性管理職を積極的増やす予定については、「ある」が19.3%で「ない」は65.7%でした。また、積極的に増やす予定が「ある」と答えた事業所に、増やしたい管理職を尋ねた結果は、「係長相当職」が56.4%、「課長相当職」は35.9%、「部長相当職以上」は2.6%という結果でした。

逆に、数年以内に女性管理職を積極的に増やす予定が「ない」と答えた事業所に理由を尋ねた結果、「管理職に必要な知識や経験、判断力のある女性がいらない」が22.9%、「女性が希望しない」が19.3%、「家庭での役割が大きいため、責任ある仕事に就けられない」の14.3%などの理由がありました。「出張・転勤があり、家庭との両立が難しい」が2.1%、「男性が女性管理職を希望しない」は0%という結果でした。

【※グラフ⑥ 女性管理職を増やす予定がない理由】

市ホームページで調査結果を公表
調査結果は、市ホームページに掲載しています。

※詳細は男女共同参画室 ☎11-11317へお尋ねください。



▲51隻の船団が勇壮に海上パレード



▲“踊りハイヤ大賞”に輝いた丸尾會



第39回 牛深ハイヤ祭り

熱気に包まれた“牛深ハイヤ祭り”を写真で振り返ってみましょう。



▲祭りの“華”ハイヤ娘



4/18日



▲「輝けハイヤの競演」には9団体が参加し、ハイヤ踊りやバンド演奏などを披露！



4/16金



▲元気あふれる若者の踊り

4/17土



▲蒲島郁夫・熊本県知事もハイヤ踊りを堪能



▲にぎわった「お祭り野外ライブ」



▶踊りを楽しむ観客



▲花車大賞の牛深保養院



▲水産フェアでは1,000食が完売し、あら煮などを堪能



観客から踊り手に変身「飛び入り丸」



「ハイヤ総踊り」には2日間あわせて、のべ64団体約3,000人が参加！

議長に本田武志氏 副議長に松江雅輝氏を選出



議長 本田 武志 氏



副議長 松江 雅輝 氏

平成22年第2回天草市議会臨時会が4月26日に開かれ、議長に本田武志氏、副議長に松江雅輝氏がそれぞれ選出されました。また、各常任委員会委員や議会運営委員会委員、議会改革調査特別委員会などの特別委員会委員、天草広域連合議会議員などが選任されたほか(下表参照)、天草市条例の一部を改正する条例などの専決処分事項3議案や、監査委員の選任についても承認・同意されました。

承認された議案

▼専決処分事項の承認について
天草市条例の一部を改正する条例。

▼同一天草市都市計画条例の一部を改正する条例。

▼同一天草市国民健康保険条例の一部を改正する条例。

委員に富田善三郎氏(新和町大多尾2701番地)を選任することに同意。

▼同一委員に福岡耕二氏(東町2番地18)を選任することに同意。

▼同一委員に中尾友二氏(本渡町広瀬5番地18)を選任することに同意。

※詳細は、本庁・総務課総務法制係 ☎1111内線1214へお尋ねください。

同意された議案

▼監査委員の選任について

宝島のわだ い



▲ほら、いっぱいとれたよ!



▲熱戦を繰り広げる“いかだレース”

ジャガジャガ祭 天草

大江の一大イベントに多くの人出

5月2日、大江のお万ヶ池公園を主会場に「ジャガジャガ祭」が開催されました。同祭実行委員会主催で11回目となるこのイベントには約4,000人が参加し、休日のひとときを満喫しました。メインのジャガイモ掘り取り体験では、参加者がジャガイモを袋いっぱい詰めて、収穫を楽しんでいました。3年ぶりに訪れたという家族連れは、「子どもに土遊びをさせられたし、農業体験もできてよかった」と喜んでいました。

このほか、いかだレースや西海岸クルージング、木工教室やバザーなど多くの催しが行われ、大盛況でした。

あまくさ子どもフェスティバル 本渡

みんなと楽しく遊ぼう!

5月2日、西の久保公園で「あまくさ子どもフェスティバル」が開催され、約2,000人の人出でにぎわいました。これは、市社会福祉協議会が、野外での遊びや自然の中で体を動かす楽しさを知ってもらい、子どもどうしの交流と協調性を養うことを目的に、毎年実施しているもの。参加者は、夏を思わせる陽気の中、竹とんぼやプロペラ飛行機を作って飛ばしたり、パン作り、輪投げなどたくさんの遊びを夢中で楽しんでいました。



▲竹に付けたパンを焼く参加者の皆さん

若宮公園ツツジ祭り 五和

彩り鮮やかなツツジの花に誘われて!

4月18日、若宮公園で御領まちづくり振興会などによる「若宮公園ツツジ祭り」が開かれました。この祭りは、荒れていた同公園を、平成10年に住民の手で再整備したことをきっかけに開催しているもので、今年で7回目。会場では、樹齢200年を超える自生のミツバツツジなどが満開の花を咲かせる中、天草町の西海荒波太鼓の披露や、輪投げ大会、宝探しゲームなどを実施。また、祭りの最後にはもち投げも行われ、家族連れなどで大いににぎわいました。



▲満開のツツジの花の中を散策する児童たち

各常任委員会委員などが選出されました (敬称略。◎は委員長、○は副委員長)

■総務企画常任委員会

◎古賀源一郎、○鎗光秀孝、池田次人、江浦政巳、本田武志、池田裕之、若山敬介、浜崎義昭

■市民環境常任委員会

◎船辺 修、○黒田忠広、楠本千秋、中村五木、宮下幸一郎、奈良崎利幸、鶴戸継啓

■建設経済常任委員会

◎中村三千人、○濱洲大心、北野鋼一、濱崎昭臣、吉川徳澄、大塚基生、平山泰司、松江雅輝

■文教厚生常任委員会

◎勝木幸生、○中尾友二、脇島義純、田中 茂、赤木武男、蓮池良正、福嶋啓子

■議会運営委員会

◎田中 茂、○蓮池良正、濱崎昭臣、大塚基生、中村五木、鎗光秀孝、中村三千人、古賀源一郎

■廃棄物処理施設建設に関する特別委員会

◎池田裕之、○船辺 修、池田次人、江浦政巳、

蓮池良正、勝木幸生、中尾友二、濱洲大心

■学校施設等整備に関する特別委員会

◎楠本千秋、○鶴戸継啓、北野鋼一、平山泰司、鎗光秀孝、中村三千人、宮下幸一郎、浜崎義昭

■議会改革調査特別委員会

◎田中 茂、○蓮池良正、濱崎昭臣、大塚基生、中村五木、脇島義純、松江雅輝、古賀源一郎

◆天草広域連合議会議員

楠本千秋、平山泰司、脇島義純、田中 茂、勝木幸生、古賀源一郎

◆上天草衛生施設組合議会議員

北野鋼一、松江雅輝、黒田忠広

◆上天草・宇城水道企業団議会議員

船辺 修、鶴戸継啓

【問い合わせ先】本庁・議会事務局議事調査係

☎1111内線1302



▲お湯を浴びながら
神輿を担ぐ女性たち



▲必死にブリを抱きしめる参加者

下田温泉祭 天草

温泉の恵みに感謝！

5月8日・9日、「下田温泉祭」が同温泉街一帯で開かれました。これは、同祭実行委員会と下田北地区振興会が、温泉の恵みに感謝しようと毎年開催しているもの。

9日は、神輿を担いだ女性たちが沿道からのお湯を浴びながら、「ヨイヨイヨイヤサ」の威勢のよい掛け声とともに温泉街を練り歩く、メインの「お湯かけ女神輿」やブリのつかみどり大会などが行われ、約8,000人の人出でにぎわいました。

神輿を担いだ参加者は、「担ぎ終えたときの達成感がたまらない。来年もまた担ぎたい」と、満足した表情で話していました。

市消防団御所浦方面隊に女性消防部が発足 御所浦

島の安全、私たちも守ります！

4月1日、市消防団御所浦方面隊に「女性消防部」(荒木伸代部長・部員31人)が発足しました。同部は、主要産業が漁業である御所浦町において、消防団員が漁に出ている時間帯に火災が発生しても消火作業が行えるように、以前から活動していた「婦人防火クラブ」のメンバーを中心に創設されたもの。同20日には発足式が行われ、真新しい制服に身を包んだ部員たちが、指揮者の号令のもときびきびとした動作で規律訓練に取り組んでいました。



▲敬礼をする部員たち

えびす像公園などにこいのぼり設置 倉岳

倉岳大えびすにこいのぼりが舞う

4月から5月にかけて、宮田の「えびす像公園」に約100匹のこいのぼりがあげられ、同所を訪れた観光客や地域住民の目を楽しませました。これは、宮田地区振興会が、漁業と観光が盛んな同地区を盛り上げようと毎年設置しているもので、今年は子どもたちが遊びに集まる、宮田公民館のグラウンドにもあげられました。ゴールデンウィーク中は晴天が続き、観光客や子どもたちなどが、さわやかな風に乗って気持ちよさそうに泳ぐこいのぼりを満喫していました。



▲「倉岳大えびす」のまわりを舞うこいのぼり

モニターツアー 牛深・五和・天草

知る人ぞ知る天草の魅力を満喫！

4月18日・19日、「西海岸に沈む夕日と牛深に息づく『ハイヤ踊り』体験」と題し、天草下島の西海岸などを巡る1泊2日のモニターツアーが行われ、観光客60人が参加しました。

このツアーは、熊本市の旅行業者が、市や(社)天草宝島観光協会などの協力を受けて実施したもので、「くまもと再発見の旅」がテーマ。参加者は、御領まちづくり振興会が企画した、地元ガイドの案内による「御領門前町散策」や、下田温泉から天草灘に沈む夕日鑑賞のほか、牛深ハイヤ保存会による牛深ハイヤ踊り体験など、ひと味違う旅を満喫していました。



▲御領門前町散策で、ガイドの説明を聞く参加者



▲牛深ハイヤ踊り体験のようす

こども読書の日おたのしみ会 本渡

絵本の朗読や人形劇などで子どもたちを魅了

4月24日、市立中央図書館で「こども読書の日おたのしみ会」が開かれ、親子連れなど80人が参加しました。これは、同図書館と熊日童話会が、同23日の「こども読書の日」にちなんで毎年開催しているもので、今年は読書への意識向上を目的に制定されている『国民読書年』も記念して実施されました。

会では、絵本の朗読やパネルシアターのほか、同図書館の職員による手品や人形劇などが披露され、子どもたちを魅了。また、折り紙作りの実演も行われ、参加者は熱心に「かぶと」作りに取り組んでいました。



▲職員と楽しそうにじゃんけんをする子どもたち



▲ハンマーを使って岩石を割る参加者。化石見つかるかな？

ゴールデンウィーク化石教室 御所浦

親子で仲良く化石発掘体験！

5月1日から同5日まで、御所浦白亜紀資料館で「ゴールデンウィーク化石教室」が開かれました。これは同館が、化石に対する興味を深めてもらおうと毎年実施しているもの。

期間中は、県内外から家族連れなど723人が参加し、市学芸員の案内で館内を見学したあと、トリゴニア砂岩化石採集場で化石発掘を体験。参加者は、見つけた化石を手にして熱心に学芸員に尋ねるなど、ふだんは触れる機会が少ない化石に興味津々でした。

なお、同館では7月24・25日、8月21・22日にかけて「夏休み化石セミナー」も行われる予定です。

受章おめでとうございます — 春の叙勲、危険業務従事者叙勲 —

春の叙勲と危険業務従事者叙勲が4月29日に発表され、市内から3人が受章されました。おめでとうございます。



五十嵐 恒親 さん
つねちか
牛深町・80歳
◎ 旭日小 校長
元牛深市議会議員



浦田 夕美 さん
ゆみ
宮地岳町・85歳
◎ 瑞宝双光章
元公立小学校校長



浦中 捷幸 さん
かつゆき
新和町大多尾・72歳
◎ 瑞宝単光章
元熊本県警部

※写真下は氏名、住所、年齢、受章種別、主要経歴。受章種別の◎は春の叙勲、◎は危険業務従事者叙勲。



▲「宇宙から見る地球は美しかった」と語る毛利さん



▲「山にエサがなくなった」と訴えるイノシシ役の生徒

まもる 毛利衛氏講演会

宇宙の魅力と不思議を語る

4月21日、日本科学未来館・館長で宇宙飛行士の毛利衛さんの講演会が天草市民センターで行われ、市内の11中学校から約700人が参加しました。

これは市が、生徒たちの環境問題に対する関心を高めるとともに、将来の夢をはぐくんでもらおうと実施。第1部では、身近な環境問題としてイノシシによる農作物被害について、生徒たちが農家役とイノシシ役にわかれて討論しました。第2部の講演で毛利さんは、「宇宙の地球人としての私たち」と題して、宇宙空間で身長が5cm伸びたこと、カエルやニワトリの卵を使った実験から生命の誕生には重力が関係することなど、自身が実際行った実験映像などを交えながら説明しました。

また、宇宙から地球を見て「生命が存在できるのは地球しかないと思った」ことも紹介するなど、毛利さんの貴重な体験談に、聴衆は興味深く聞き入っていました。

竜洞山健康ウォーク

新和

新緑の風を肌感じて

竜洞山から望む不知火海の眺めを楽しみながら、森林の中を散策する「第6回竜洞山健康ウォーク」が5月2日、新和緑の村一帯で開催され、市内外から220人が参加しました。コースは、同村の管理棟前をスタート・ゴールとする全長5km。参加者は、思いおみのペースで歩きながら、新緑の風を肌で感じていました。ゴール後は、アオサ汁などがふるまわれたほか、地元の海産物などが当たる抽選会やもち投げも行われ、大いににぎわいました。



▲新緑のトンネルを通る参加者

天草漁協崎津支所が朝市を開催

河浦

とれたての魚介類に行列

天草漁協崎津支所の荷さばき所で5月3日、とれたての魚介類などを売る朝市が開かれました。これは同支所が、地元でとれる魚介類を多くの人に知ってもらい、消費拡大や地域の活性化につなげようといわれたもので、今回で2回目。この日は連休中ということもあり、会場には観光客や帰省客が大勢詰めかけ、天然のヤズには行列ができるなど大盛況。訪れた観光客は「ウニや魚のみりん干しなど、いいおみやげができた」と満足そうに話していました。



▲新鮮な魚介類の品定めをする買い物客

ひゃくまんべん 伝統行事「百万遍（虫追い）」

栖本

五穀豊穡、無病息災を願って

5月9日、大河内地区の伝統行事である「百万遍」が大河内自治公民館で行われました。この行事は、参加者が輪になり、長さ約16メートルもある特製の念珠を回しながら、五穀豊穡や無病息災、先祖供養を祈願するもの。栖本町内では毎年2地区で行なわれていますが、地区をあげて実施しているのは大河内地区のみです。参加した地区住民30人は、地元の僧りよといっしょになって念仏を唱えながら、大きな念珠を次々に回していました。



▲念仏を唱えながら念珠を回す地区の皆さん

熊本県四半的弓道連盟競射大会

有明

神経を集中して矢を射る

4月24日、熊本県四半的弓道連盟主催の競射大会が有明体育館で行われ、県内外の四半的弓道の愛好者32チーム・150人が参加しました。この競技は、座った姿勢で約8メートル先の小さな的を目標けて矢を放つもの。参加者は、日ごろの練習で磨いた腕前を披露し、矢が的を射抜くと“ヨシ”という力強い声があがるなど、熱戦を繰り広げていました。また、有明町内からも3チーム・15人が出場し、健闘を見せていました。



▲力強く弓矢を引く参加者

地域とともに伸びゆく下田っ子

下田北小学校（天草町）
6年 高見 彩

私たちの住む下田北は、下田温泉と青い海、そしてたくさんの自然にかこまれたすてきな町です。そして、下田北小学校の校門からは、西海岸にしずむ夕日がとてもきれいに見えます。私たちの学校では、11月に『しらさぎフェスタ』という行事があります。おうちの人だけでなく地域の人たちも招待して、劇や合奏を見ていただいたり、私たちの手作りの出店でゲームなどを楽しんでもらったりします。このほかにも、地域の人たちに郷土料理を教えていただいたりするなど、いろいろな交流をしています。これからも、地域の人たちとたくさん交流をして、もっともっと下田北のことを知っていきたいと思います。



“しらさぎフェスタ”で出店をするようす。
「いらっしゃい、いらっしゃい！」

ぼくのわたしの
学校部活
自慢



エコレンジャーを結成し、
環境ISO宣言集会で発表する児童たち

みんなで取り組んだ環境問題

宮野河内小学校（河浦町）
6年 島崎真由

宮野河内小学校では、2年ほど前から環境のことについて学習しています。環境について学ぶ中で、環境問題がこんなに身近なことであると初めて知りました。今まで水や電気をたくさん使って、環境に良いとはいえないこともたくさんしていたからです。そこで、学校や家庭で使った水を、校内や自宅の植木鉢や畑に再利用したり、夏休みに親子で海岸清掃活動に取り組んだりしました。その結果、環境を守ろうという意識がかなり高まりました。これからも、環境のことについて考え、行動し、身近なことからエコを広めて、宮野河内の自然やかかげえのない地球環境を、みんなで守っていこうと思います。

宝島の健康
よさげ屋

藤平朝憲さん
(御所浦町嵐口・82歳)



◆毎日の楽しみは？

カラオケが大好きで、特に演歌をよく歌っています。また、グラウンドゴルフも友だちと楽しんでいます。人とのふれあいを大事にして、毎日明るく元気に過ごしています。

◆健康の秘けつは？

かぜをひかないように、また転倒しないように気をつけています。食事でも腹八分を心がけ、好き嫌いをせず何でも食べます。また、何事にもよくよせず明るい気持ちでいることが一番ですね。



猪原由佳さん（栖本町湯船原・25歳）

昨年、6年ぶりに帰郷し、栖本太鼓踊りで全国青年大会に出場しました。結果は、見事“最優秀賞”を受賞。伝統を必死に守っていこうとする青年団のみなさんの熱意と、こぼれる涙にとっても感動しました。このことを忘れず、通訳の仕事という夢に向かってがんばります。

豊かな感性をはぐくんでいます！

本渡南幼稚園（川原町）

本渡南幼稚園（鶴田康代園長・全園児68人）の子どもたちは、明るくすなおで元気いっぱいです。園では、「みずから気づき、考え、行動できる子どもの育成」を目ざし、保護者や地域の人たちとの花・野菜の栽培、おじいちゃん、おばあちゃんのお月見だんご作りなど、さまざまな体験活動を行っています。また、誕生会には地域の人たちを招いて、楽器演奏や手品などの特技を披露していただき、子どもたちも毎回楽しみにしています。未就園児親子体験活動（いちごクラブ）も毎月実施しており、園児との交流も活発です。

きらきらした笑顔と、笑い声あふれる本渡南幼稚園に、ぜひ遊びに来てください。



元気いっぱい30人のすみれぐみ

このゆびとくまれ



地域のひとと“伝承遊び”をする園児

おじいちゃん、おばあちゃんありがとう

おれんじ保育園（深海町）

おれんじ保育園（川畑安廣園長・全園児14人）は、“強い子・明るい子・考える子”を保育目標に、物事をやり通すたくましさや心情豊かな心、考え工夫する態度が身につくことを願っています。地区の老人会との交流会では、園児が田んぼで見つけた七草で“七草がゆ”を作り、無病息災を願っていっしょに食べました。毎年行う伝承遊びでは、おじいちゃんが昔とったきねづかでこま回しをして、子どもたちからは大歓声。また、おばあちゃんの見事なお手玉の披露に目を丸くしたり、あやとりでは指に糸がからまり互いに大笑いするなど、たいへんにぎわいました。今後も、こんな和やかな時が続くことを期待しています。

地域づくり
コーナー

人が動く
地域が動く
天草が動く

お年寄りのまちで地震が発生したら…

魚貫地区振興会（会長 見分一代）

日本中で少子高齢化が大きな社会問題となつていますが、私たちの魚貫町も高齢化率が39・7%（平成22年2月末現在）であり、また、まごころ弁当を宅配する75歳以上の単身世帯が95世帯で、全世帯の17%を占めています。魚貫地区振興会では、このような高齢者のまちで「地震が発生したらどうなるか」という発想のもと、『自主防災組織訓練』を行っています。訓練は、魚貫港沖で地震が発生し、津波の恐れがあるので一時避難所から高台へ避難するとの想定。参加者たちは、班を編成して誘導ロープを持ち、みんなに遅れないように必死になって高台を目指します。その後、消火訓練やAED（自動体外式除細動器）講習を実施



▲避難訓練をする参加者

毛利さんの講演に感動!

天草市長 安田 公寛



4月21日、日本科学未来館の館長でスペースシャトル「エンデバー」に搭乗された、宇宙飛行士の毛利衛さんの講演会が開催されました。これは、次世代を担う天草の子どもたちに、宇宙からみた地球のすばらしさや、自分たちが住む地球の環境保全、人間や生命の尊さの重要性を学んでもらいたいということで、創立50周年を迎えられた本渡ロータリークラブのご提案を受けて、市内の中学3年生を対象に市と共同で開催したものです。

宇宙での自身の体験や実際の実験映像などを使った特別授業で、宇宙空間の不思議さや環境保護の大切さを伝えていただきましたが、会場内の生

徒の皆さんとのやり取りの際に、ステージのスクリーンに映し出される毛利さんの大きな瞳は、とても印象的でした。

その瞳は、ときに厳しく、ときにやさしく生徒たちに向けられており、問題を解決するには、自分自身の経験をもとにしっかり考えること、そして、物事の本質を見抜く力をもって欲しいという願いが強く伝わってきました。

予定された時間を過ぎても、自分の思いをきちんと伝えたいと講演を続けられる毛利さんの熱心なお姿に、強い責任感と熱い魂を感じた生徒の皆さんも多かったのではないかと思います。



きら
煌めく人
たち

石工の技術を知ってもらうために

かくだ しんいち
角田 新一 さん (五和町御領・39歳)

五和町御領に住む角田新一さんは、実家で30年あまり続く石材店の2代目で、石材を加工したり組み立てたりする「石工」である。「もともと家業を継ぐ気はなかった」と角田さん。しかし、すでに石工として高い評価を得ていた父親の影響もあり、同じ道に進むことを決意。高校を卒業し、すぐに父親の下で見習いとなり、石工としての一歩を踏み出した。ふだんは、主に墓碑の製作を手がけている。この職業は、依頼主の意図やニーズを実現することが大前提だが、作り手としての的確な

アドバイスも重要。そのため、「定期的に石材の産地にもむき、状況把握することは欠かせない」と角田さん。そのうえで、「製作は依頼主との共同作業。完成したのを見て、満足感を共有できたとき、一番やりがいを感じる」と笑顔を見せる。

一方、厳しい現実もある。安価な中国製品の拡大などによる長引く不況。「石工の島」といわれる天草地域でも、今では石材業者が30件にまで減少した。しかし、このような危機的状況の中、明るい話題も。若手の石工たちが立ち上がり、新製品の研究・開発や石工の技術を広く知ってもらうおうと、「天草石匠会」を結成。現在、角田さんは同会の会長を務めており、勉強会の開催やイベントへの出席など、意欲的に活動を行っている。

今後は、地元産の御領石を使った製品にも挑戦したいという角田さん。「天草の石工の技術はとても高い。この技をいかして、新しいことが必ずできる」と、石工ならではの「石の決意」を語った。

ハッピー HAPPY BIRTHDAY パースデー
今日で1歳になります



かのん
猪股 花音 ちゃん
牛深町
父・孝政さん
母・明日香さん

ウメノばあちゃんの煮しめが大好きです♡いつもありがとうございます!



むねよし
鶴田 宗圭 くん
本町本
父・博文さん
母・みゆきさん

めい姉ちゃん、大裕兄ちゃんたくさん遊んでネ♡



そうすけ
廣末 湊亮 くん
本渡町本戸馬場
父・英治さん
母・裕子さん

最近「どうぞ」を覚えたね。思いやりのある子に育ってね。



はじめ
塚本 一 くん
志柿町
父・一博さん
母・美紀さん

塚本家のほほえみの貴公子はあ様♡毎日いやされてまーす♡



川元 あかり ちゃん
牛深町
父・太郎さん
母・弥生さん

こはる心暖お姉ちゃんと仲良くあそんでいます!! 元気に成長して欲しいです。



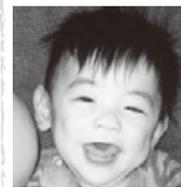
たくま
益田 拓真 くん
亀場町亀川
父・慎吾さん
母・由里子さん

6月から保育園!! お友だちいっぱい作ってね。



りんたろう
花田 凜太郎 くん
牛深町
父・寛さん
母・妃呂子さん

先生やお友だちにはぐくまれ、元気におっくんってます♪



つばさ
有江 翼 くん
太田町
父・大介さん
母・優子さん

1カ月違いにうまれた双子の妹の葵と毎日仲良くあそんでいます!!



みお
杉本 滯 ちゃん
本渡町本渡
父・翼さん
母・五月さん

笑顔もいっぱい☆食欲もいっぱい☆元気いっぱい育ってね♡

7月で満1歳になるお子さんを募集します!

- 応募期限=6月10日(木)まで(必着)。
- 応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

読者のつぶやき

わが家の玄関には、みかんの不知火と晩柑の記念碑があります。これは、私が昨年還暦を迎えた記念に、親戚からいただいたお祝いで製作したものです。みかんを栽培して35年。これからも、家族みんなでがんばろうと決意をあらたにしています。



ペンネーム: もっちゃん家 (有明町)



海の見える所に嫁いで40年あまり。「どんく」と「わっく」のハーモニーを私も聞いてみたいです。係長「凡」さんは、どこにお住まいですか?

ペンネーム: 匿名

皆さんからのお便りを募集しています!

身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、ぜひご応募ください。原稿は100字程度で、応募者多数の場合は選考のうえ掲載します。

※表記などを統一するため、趣旨を変えず文章を直すこともあります。

- ▶応募期限=6月10日(木)まで(必着)。
- ▶応募方法=寄稿文をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、性別、電話番号を記入し、〒863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。

**市政だより天草
発行100号記念
特別企画**

◆ **広報紙の歴史を振り返る**

平成18年4月15日に、市と市民の皆さんをつなぐ架け橋として創刊した広報紙「市政だより天草」が、今号で100号の節目を迎えました。合併前の旧各市町では、昭和20〜30年代にそれぞれ創刊され、時代の移り変わりとともに紙面も大きく変化しています。そこで、発行された各年代を追って紙面の一部をご紹介します。



広報ほんど〔創刊号〕
昭和29年11月25日発行



広報河浦〔創刊号〕
昭和30年11月1日発行



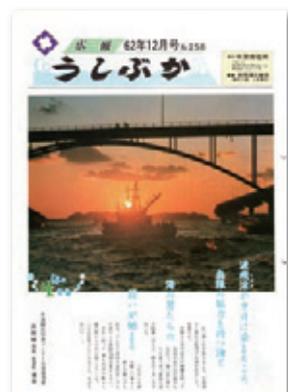
広報くらたけ〔第10号〕
昭和32年12月1日発行



広報有明〔第112号〕
昭和49年8月1日発行



広報新和〔第189号〕
昭和55年6月1日発行



広報うしぶか〔第258号〕
昭和62年12月1日発行(今号からカラー)



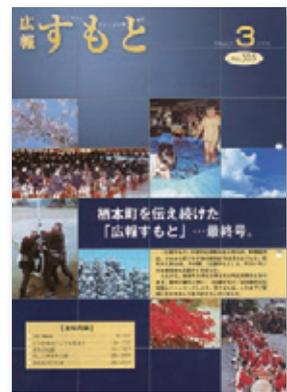
広報いつわ〔第203号〕
平成2年11月25日発行



広報あまくさ〔第430号〕
平成13年8月1日発行



御所浦町だより〔第478号〕
平成16年4月10日発行



広報すもと〔最終号〕
平成18年3月1日発行

※天草アーカイブズ(五和支所内)では、旧各市町の広報紙を閲覧することができます(一部を除く)。資料の閲覧方法などの詳細は、同所 ☎ 5515へお尋ねください。

※「地域に根ざす郷土料理」、「天草アーカイブズ収蔵・思い出写真館」はお休みしました。

くしゃみがよく出るとき。私の場合、それは空を見上げたときです。5月18日に種子島宇宙センターから発射される予定だったロケット。私もひと目見ようと空を仰いでいました。悪天候のため打ち上げ延期。「ハクシヨーン」と空に響いただけの残念な結果に終わりました…。【素】

やっぱり、インドア派の私がかメラを抱えている姿が似合わないらしく、知人たちが口々にちゃんと写真を撮れるのかを心配してくれませんが、「自分が一番不安だよ」と思いながらも、いつか認められる写真を撮るぞ!と野望を胸に秘めつつ、今はまた文字と格闘している毎日です。【海】

ひっちゃけて、ふちやばふつぽがした(落ちてひたいをケガした)経験がある自転車の練習。友だちが荷台を握りいっしょに走りながら「知らぬ間に手を放す」のが一般的でした。体が小さくて26インチの自転車のサドルに乗れず、曲芸みたいに三角乗りしていたのを思い出します。【凡】

